

理念：本プログラムでは、データを意思決定に資する「情報」へ転換し、社会課題解決のためのビジネスを構想・実装する力を育む。AIが急速に進化する現代においても、課題の発見・価値判断・ステークホルダーとの合意形成・倫理的意思決定は人間の洞察と責任を必要とする。**ビジネスデザインカ・リーダーシップ・倫理的視点を核に、テクノロジーを社会に実装できるDX推進人材を育成する。**

科目体系（3領域・全23科目）

必 必須科目（7科目・16単位、全員修得が必要） 理論 モデルカリキュラム応用基礎の理論科目

領域1 DS・数理基礎

- データサイエンス入門 必
- 統計・データ分析 必
- データ収集・分析 必
- データサイエンス応用
- フィールドワーク
- マーケティング分析
- 仕事で使う数学

領域2 DE・プログラミング

- プログラミング 必
- テクノロジーとイノベーション 必 理論
- アプリ開発
- プログラム開発
- ITビジネス
- ITリテラシー

領域3 ★特色

- 社会実装・PBL・BD**
- PBL応用Ⅱ（4単位） 必
 - 学外プロジェクト 必
 - ビジネスリーダーシップ
 - 倫理・哲学
 - ロジカルシンキング
 - デザインシンキング
 - 問題解決法
 - ビジネスモデル
 - プロジェクトマネジメント
 - アントレプレナーシップ

基礎→応用→実践の段階的カリキュラム

学部 必修	PBL入門Ⅰ・Ⅱ（8単位） 〈1年次〉全学生がチーム協働とリーダーシップの基礎を修得する
1~2年 基礎	DS入門・プログラミング・統計・データ収集分析 データ分析とプログラミングの基礎を体系的に修得する
2~3年 応用	DS応用・フィールドワーク・マーケティング分析 専門的な分析・実装・調査の力を高める
2~3年 実践	PBL応用Ⅱ・学外プロジェクト（必須） 企業・自治体のリアル課題に取り組み、クライアントへ直接提案して産業界からのフィードバックを受ける
3年 理論	テクノロジーとイノベーション（必須） 実践経験を体系化し、社会実装への洞察力を養う
必修 ゼミ	BD演習Ⅰa~Ⅱb（8単位） 〈3~4年次〉本プログラムで培ったDX推進力を各自のビジネスプロジェクトへ統合・発展させる

4つの特色

① DS×ビジネスデザインの一体化 データ分析・AI活用を単独の技術教育として扱わず、課題発見→ビジネス構想→社会実装へ接続する。文系学部での強みであるドメイン知識・コミュニケーション力とテクノロジーを組み合わせ、ビジネス変革を牽引する人材を育成する。	② 一次データ収集とPBLの重視 「フィールドワーク」「学外プロジェクト」でまだ整理されていない現実の情報を自ら収集・仮説検証し、連携企業・自治体からの直接フィードバックにより産業界の評価を教育サイクルに組み込む。
③ リーダーシップと倫理的判断力 多様な関係者と協働し、社会的影響を見据えて意思決定する力をPBL・倫理哲学を通じて育成する。	④ 科目横断的な教員配置 「DS応用」「テクノロジーとイノベーション」「プログラミング」担当教員が「PBL応用Ⅱ」も担当し、理論と実践を接続する。

学修成果（モデルカリキュラム3要素）

- I データ表現・アルゴリズム：**Pythonでデータを収集・加工・可視化し、統計的仮説検定によってビジネス上の意思決定に活かせる。アルゴリズムの基礎を理解してプログラムとして実装できる。
- II AI・DS基礎：**機械学習・生成AIの原理を理解し、AI倫理に基づいて責任あるテクノロジー活用の方針を検討できる。
- III AI・DS実践：**企業連携PBLで仮説検証からプロトタイプの実装・ステークホルダーへの提案までを自律的に推進し、DXを牽引する社会実装の力を身につける。